

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 1日

事業所名 _____ ぎ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			配置の基準よりは多くの職員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		課題(宿題)スペースや個別スペース等エリアを分けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			今年度はコロナもあり、より気をつけました。空気清浄機の増設等。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		職員間での連絡ノートに残している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			結果を受止め会議を行い改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			今年度はコロナもあり、職員が集まって行う機会を少なくし、動画や書類での研修を月1回行った。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			モニタリングや送迎時に確認している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			全職員が見れるようファイル分けをして保管している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		ミーティングを行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			児童によりますが行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員間での連絡ノートやケース記録に残している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			非常勤の職員でも担当していれば参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要な子どもやある子どもさんの利用はごさ
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			幼稚園で会議を行ったことがある。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者様からの依頼がある場合は児童発達支援のご利用時の様子をお伝えしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			職員研修の一環で見学させていただいた事が2度あります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	交流とは違うが、地域の公園等で触れ合う場面はある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			児童部会へ参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳、電話等で行うようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		プログラムではないが相談を受けた際に助言している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎やモニタリングの際に行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			一昨年よりLINE公式アカウントを使用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			一昨年よりLINE公式アカウントを使用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	地域の清掃活動をしている際に地域の方にごあいさつをしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			ホームページに掲載しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			職員のための訓練は年2回以上行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時に確認し、主治医や対応等をファイルにまとめている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事務所内に配置し全員が記入、見れるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年に1回以上は行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				現在まで事例がないですが、必要性があれば保護した上、個別支援計画書を作成しなおします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

)

やつする _____

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
聴覚過敏の児童がエスケイプできる 場所を作っていく。
保護者様への周知を徹底する。
バリアフリーについては1階でフラット ではあるが玄関口の段差があるので なくしていく。
清掃だけでなく、手洗い・消毒等の 衛生面に気をつけていく。
非常勤職員の意見をもっと聞ける 環境を作る。
結果を事務所内に掲示し、できてい ない箇所を職員全体で共有しミーテ ィングを行う。
保護者様への周知を徹底する。
第三者評価については、今後検討し ていきます。
コロナが収まれば昨年度のように 職員が集まったの研修を行う。
非常勤職員の意見をもっと聞ける 環境を作る。

課題や改善すべき点を踏まえた
改善内容又は改善目標

今年度はコロナが収まり次第、全職員出席の会議を再開したいです。

必要であれば今後も家庭や仕事の環境を
考えリモートでのモニタリングを取入れて
いく。

重症心身障害の
いませんでした。

今後も課外活動を行い触れ合える
機会は作っていく。

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
今年度計画していたものが コロナで延期となっております。
事業所としては対応できるようにして いるが、体制等が保護者様に周知し てもらえるように発信していく。
法令違反を起こさないよう努める。
お仕事されている保護者様への 連絡等の時間の配慮を行っていく。
不特定多数の方を招く事ができる よう防犯体制ができていない。
保護者様への周知を徹底する。
今年度はコロナの影響もあり児童 参加の訓練は全曜日1回のみと なっていました。
者様へ事前に説明し同意をいただい